

目的

在宅医療等の大幅な需要が見込まれる中で、訪問診療等を実施していない診療所医師等に対する在宅医療に関する理解の促進を図るためのセミナーを開催し、在宅医療への参入促進を図る。

実施概要

- (1)対象者
訪問診療等を実施していない診療所医師等
- (2)形式
講義、グループワーク等
- (3)カリキュラム内容
 - 在宅医の役割や取組、地域における多職種等の連携
 - 24時間診療体制の確保等、実践している好事例・先駆的な事例の発表
 - 経験年数の長い在宅医と新たに在宅医療に携わることを考えている医師(参加者)とのディスカッション など
- (4)開催回数
年2回(平成30年度は年1回)
- (5)実施規模
3年間計 400名程度(㊸:80名、㊹:160名、㊺:160名)

カリキュラム

| 実施内容 | テーマ | 具体的内容 |
|-------|--------------------------------------|---|
| 講演 | 在宅医療について 24時間の患者の安心体制と看取りについて | <p><カリキュラム内容></p> <p>○在宅医療について 地域における在宅医の役割、在宅療養に関わる多職種との連携や在宅療養を取り巻く社会状況を学ぶ。</p> <p>○24時間の患者の安心体制と看取りについて(在宅医から) 実際の現場の事例を紹介し、24時間診療体制の確保と看取りについての不安を払拭する。</p> <p>○訪問看護側と連携した24時間の患者の安心体制について(訪問看護師から) 訪問看護側と連携した24時間の患者の安心体制構築について具体的なイメージをつかむ。</p> |
| 意見交換会 | | 訪問診療等に参入するにあたっての不安を解消できるよう、実績のある在宅医との意見交換会を実施。 |
| 同行研修 | | 参加者が在宅医の訪問診療に同行し、実際の現場を体験する。 |

予算額

13,606千円

事業期間

平成30年度～令和2年度

※ 地域において在宅医療に関する取組実施の参考としていただくため、区市町村職員も参加可能(同行研修を除く)